

平成 20 年度 春期 システム監査技術者試験 解答例

午後 試験

問 1

出題趣旨	
<p>システムの運用においては、自動化ツールや監視ツールの導入が一般的な状況となっている。こうしたツール類の導入は、運用業務の効率や信頼性の向上に大きな効果をもたらすが、一方で適切な利用ができない場合には、トラブルにつながる可能性も大きくなる。したがって、運用業務を監査する場合には、こうしたツール類が適切に利用されていることを評価する必要がある。</p> <p>本問は、運用関連のツール類を利用したシステムの運用状況を正しく理解した上で、システム監査人として必要なコントロールの把握や、リスクに応じた監査手続の検討を行う能力が備わっているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	基盤管理課長による登録結果リストと運用スケジュール表の照合を行う。	
設問 2	(1) オペレータが本番作業依頼票で指示された以外の作業を本番機で行っても発見されないリスク	
	(2) 依頼された作業だけが行われているか、オペレーション管理者が自ら出力したオペレーションログで確認する。	
設問 3	(1) 基盤管理課長の承認印の確認だけでは、課長が照合を怠った場合の不一致を発見できないから	
	(2) 本番リリース依頼書と添付の登録内容表を照合し、記録されたメッセージが一致することを確認する。	

問 2

出題趣旨	
<p>銀行預金口座やクレジットカードの不正使用は、重大な社会問題である。特に、キャッシングサービス関連システムにおいては、カード会員番号や暗証番号の機密性を確保することが要求される。また、経営層は、不正防止に大きな関心をもっており、監査部門に対して、関連するリスクとコントロールの検証を求めることが多くなっている。</p> <p>本問は、システム監査人として、情報システムに関連した不正防止や情報セキュリティに関連するリスク及びコントロールを把握し、それに対応する監査手続の適切性を判断できるかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	の理由 閲覧したプログラム仕様書と現時点で実装されているチェック機能の合致を確かめる必要があるから	
	の理由 暗証番号変更時のチェック機能が暗証番号設定ポリシーに準拠しているか確かめる必要があるから	
設問 2	暗証番号の誤入力が無制限に許容され、正しい暗証番号を入手されるリスク	
設問 3	入出力画面 暗証番号が非表示になっていること	
	ログファイル <ul style="list-style-type: none"> ・暗証番号が暗号化されていること ・暗証番号が保存されていないこと 	
設問 4	調査した金融機関以外の ATM 利用明細票のカード会員番号が表示されている可能性があるから	

問 3

出題趣旨	
<p>コールセンタは、インターネット技術と電話との機能の統合によって、顧客の獲得及び維持、顧客満足度の向上、生産性の向上を実現させるための戦略拠点としての役割を担うようになった。しかし、これらが企業の期待どおりに実現していない場合もある。</p> <p>本問は、コールセンタシステムの再構築に伴う様々な変更に関連する問題について、システムの有効性の視点から、想定されるリスクとそれに対するコントロールを理解し、システム監査上の着眼点を識別できる能力が備わっているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	コールセンタ内の LAN の障害時に IP を利用した機能が使用できなくなり、問合せができなくなる。	
	(2)	コールセンタ内の LAN セグメントを冗長構成にする。	
設問 2		直接オペレータに問い合わせたい案件でも IVR を経由し、問合せ過程が複雑になり、手間がかかるから	
設問 3	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解決に至るまでの送受信回数が多い電子メールの案件 ・ 受信してから返信するまでの時間が長い電子メールの案件 	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声記録が保存されているディスク領域の使用率を定期的に把握し、容量不足の発生を防止しているか。 ・ 音声記録の増加によるディスク領域への影響を踏まえて、適切なバックアップ計画を策定し運用しているか。 	

問 4

出題趣旨	
<p>システム監査を効果的かつ効率的に実施するためには、監査計画を適切に策定することが重要である。システム導入後の監査の場合には、システムの特徴を理解した上で事前に資料を分析し、調査すべきサンプルとして選択した場所や監査において考慮すべき事項を検討して、監査計画を策定する。</p> <p>本問は、契約管理システムを取り上げて、その導入目的や特徴を踏まえて監査計画を適切に策定するために、システム監査人として必要な能力が備わっているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	資料	契約書の申請や締結を行わないで、取引が開始されている可能性がある。	
	資料	課長が、重要な契約項目があることを見逃して承認してしまう可能性がある。	
設問 2	基準	実施しているビジネスの種類	
	理由	ビジネスが異なると契約上のリスクが異なる可能性があるから	
設問 3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な操作教育が行われておらず、操作ミスが発生している可能性がある。 ・ 特定課の業務要件が十分に網羅されておらず、効率的に利用できない可能性がある。 	
設問 4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 課長不在時の承認のために、事業部長の承認ルートが設定されていること ・ 申請時に選択されたプロジェクトリーダーは、プロジェクトの責任者であること 	